

けいはんな View

KEIHANNA New Industry Creation and Interactive Community Center Information

けいはんな新産業創出・交流センター

けいはんなから新しい産業を

【寄稿】
 けいはんな新産業創出・交流センターへの期待
 阪南大学 学長
 関西文化学術研究都市サード・ステージ推進会議 学識委員 大槻眞一氏

【注目！企業インタビュー】
 日本伸縮管株式会社 代表取締役 岩本泰一氏

【企業セミナー】
 中小企業の隠れた強みを活かす知恵ビジネス

【イベント報告】
 けいはんな「光医療産業バレー」シンポジウム開催

入居企業紹介 / 有研テック・株式会社 H&C技術研究所・
 有限会社 キャトルアイ・サイエンス

けいはんな探索

春爛漫——。今を盛りと咲き誇る桜が公園を埋め尽くしている。

けいはんな記念公園は、平安遷都1200年記念事業として建設され、13年前にオープンした。24・1ヘクタールの広い園内は、芝生広場、自然林(芽ぶきの森)、永谷池、日本庭園(水景園)などに分かれている。桜はソメイヨシノ、ヤマザクラが中心で約300本。周辺の景観とマッチしてどれも見事な風情をかもし出している。豊かな環境の自然林は、かつて貴重種・オオタカが生息していたことで有名で、巣づくりが発見されてから保全運動が起こり、結局現状のまま残されたことになった。オオタカはいなくなったが、今でもカワセミ、オンドリなど珍しい野鳥が飛来、野鳥愛好家の人気のスポットとなっている。



▲けいはんな記念公園

公園の活性化のため、2年前から民間に運営が委託されている。入園者は増加傾向にあり、昨年は30万人を超えた。大人から子供まで楽しめるイベントに工夫を凝らし、今年は昨年を上回る入園者の勢いという。「自然環境の中で落ち着いた雰囲気での会議が出来るスペースがあるので、地元の人はもちろんのこと、研究機関の方にも、大いに活用して欲しい」(山口隆史企画部長)とPRしている。

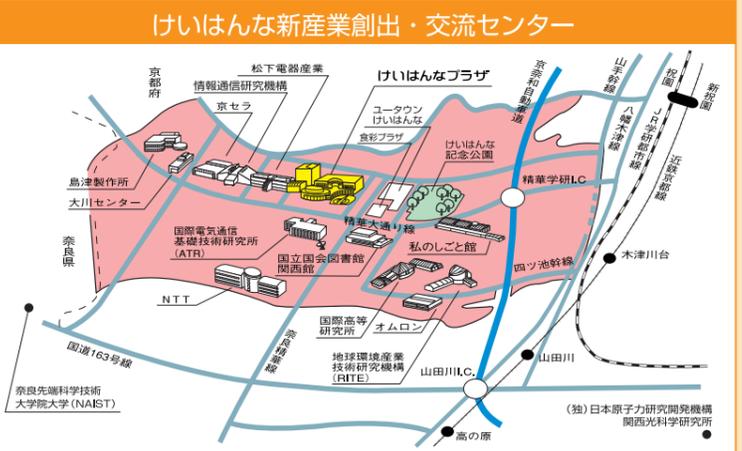


風ノ門 一宙- THE GATE▶

けいはんな記念公園は隠れた芸術の森の風情がいっぱい。その中の1点が陶彫の《風ノ門一宙- THE GATE》。京都の前衛陶芸グループである走泥社元同人の陶芸作家・川上カミさんの作品。川上さんが京都府へ寄贈した作品を展示している。このゲートを起点に日本庭園と自然林が分かれている。またイタリアの現代陶芸作家、フェデリコ・ボナルディの石彫「コペルニクスの観測鳥」「ガリレオの子孫たち」など芸術作品が来園者の目を楽しませている。

編集後記

2008年、春4月けいはんな新産業創出・交流センターは、開設3周年を迎えました。七・五・三の祝いをもち出すまでもなく3周年は、一つの区切りとなる時期で、それを祝い、新たな成長を願う時期でもあります。「けいはんなから新しい産業を」を合言葉に、けいはんな学研都市の発展と関西経済の復権を目指し、関係者の期待を浴びてスタートしたセンターは、その与えられたミッションを遂行するため、日々、企業支援活動を展開し、様々な企画イベントや研究開発プロジェクトを立ち上げて来ました。これまで、皆様方からいただいた貴重なご意見やご提案をしっかりと受け止め、初心に戻り、改めてけいはんな学研都市の発展と関西経済の復権に向けチャレンジして行きます。皆様に支えられた3周年を感謝するとともに、私たちの活動が機縁となり、新たな産業が芽吹き、花を付け、結実することを願い、またそれを励みとして、これからも産業総合支援機関として期待されるセンターであり続けたいと思います。(知)



〒619-0237
 けいはんな学研都市(精華町光台1丁目7) けいはんなプラザ・ラボ棟3階
 TEL : 0774-98-2230 FAX : 0774-98-2202

〒530-6691
 大阪市北区中之島6丁目2番27号 中之島センタービル 24F
 TEL : 06-6441-9213 FAX : 06-6441-9347

URL <http://keihanna.biz>

特集

けいはんな学研都市から
 産、学、公、住が取り組む
 エコロジー
 ー構想発信





けいはんな 新産業創出・交流センターへの期待

阪南大学 学長
関西文化学術研究都市サード・ステージ推進会議 学識委員
大槻 眞一



オーストラリアにめざましい新産業創出拠点がある。シドニーの近郊、レッドファーンにあるAustralian Technology Park (ATP)である。このATPはシドニー大学、シドニー工科大学、ニューサウスウェールズ大学、オーストラリア国立大学などがスポンサーとなって10数年前に設立したインキュベータ、レンタルオフィス・ファクトリー、産学交流施設、展示場などの一大複合施設である。敷地は14haの古い操車場跡、建物は赤レンガ作りの機関庫などの内装を改装してそのまま使っている。ATPの最大の特徴は、これら4つの大学の支援を受けながらインキュベータからぞくぞくと新しい企業が巣立っていることである。

この起業率の高さの秘密は、起業家が大学の研究成果の事業化を目指してインキュベータの入居を申し込むと、入居前に目標とする商品やサービスの研究開発、製造、販売、財務など、事業の全過程にわたってビジネスモデルのブラッシュアップを進め、入居後も起業家を励まし、背中を押し続けている点である。

関西の特徴は、けいはんな学研都市はじめ、大学・研究機関が多いことである。これらの大学・研究機関から続々と生み出される新しい技術を基に、ものづくりを得意とする中小企業が事業化を試みる際に、オーストラリア型の起業サポートによって、ビジネスモデルの完成度を高めて成功率を高めることができれば、けいはんな学研都市を中心とする産業クラスターの形成も夢ではない。

ビジネスモデルから創業に至るまでの支援は、けいはんな新産業創出・交流センターの得意技でもあり、センターの活躍が大いに期待されることである。



けいはんなをもっと大きく、 もっと広く

けいはんな新産業創出・交流センターは、開設3周年を迎えました。
これからも関西経済の発展に貢献し、次のステップに向かって頑張ります。

けいはんな学研都市の推移

- 1983年 「関西文化学術研究都市建設推進協議会」設立
- 1984年 (財)国際高等研究所設立
- 1986年 (財)関西文化学術研究都市推進機構設立
- 1987年 「関西文化学術研究都市建設促進法」公布・施行
- 1989年 (株)国際電気通信基礎技術研究所(ATR)開所
(株)けいはんな設立
- 1991年 奈良先端科学技術大学院大学(NAIST)開校
- 1993年 文化学術研究交流施設「けいはんなプラザ」開設
(財)地球環境産業技術研究機構(RITE)竣工
- 1994年 「けいはんな学研都市フェスティバル'94」
(学研都市「都市びらき」)開催



セカンド・ステージ(都市建設)

- 1996年 関西文化学術研究都市セカンド・ステージ・プラン
「関西文化学術研究都市の今後の整備方策について」を答申
- 1999年 (独)日本原子力研究開発機構(現関西光科学研究所)開所
- 2000年 (独)情報通信研究機構(NICT)(現けいはんな研究所)開所
- 2002年 国立国会図書館関西館開館
- 2003年 私のしごと館オープン
- 2004年 関西文化学術研究都市「都市びらき10周年」
- 2005年 **4月 けいはんな新産業創出・交流センター開所**



サード・ステージ(建設推進、都市運営)

- 2006年 「関西文化学術研究都市サード・ステージ・プラン
～学研都市の新たな展開を目指して～」策定
近鉄「けいはんな線」開業

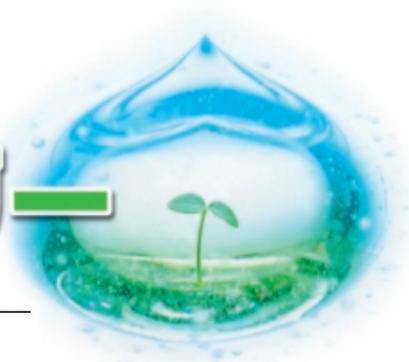
10月 IIS(新事業創出機構)と統合、新センター発足

けいはんな学研都市がサード・ステージ(建設推進・高度な都市運営の段階)を迎え、けいはんな新産業創出・交流センターは、産学官連携、産業創出、国際交流等の分野において、中核的な役割を担っています。

環境にやさしく!

広がるエコロジー

—けいはんな学研都市の役割について—



地球温暖化をはじめとする環境問題が深刻となる中、地球規模で自然生態系が激変しつつあります。すでに日常生活には様々な影響が出てきており、ライフスタイルの改善等が大きな課題の一つとなっています。

また、京都議定書に盛り込まれている温室効果ガスの削減目標達成の約束期間（5年間）が、2008年から始まり産、学、公、住の様々な分野で取組が始まっています。

今回、サード・ステージを迎えた「けいはんな学研都市」の新たな展開として、そのミッションの一つである「環境」をテーマに、各界でご活躍いただいている皆様方から取組の指針について、貴重なご提案をいただきました。

京都議定書発祥の地にある「けいはんな学研都市」からの先進的取組が期待されます。



(京都商工会議所 特別応接室)

持続発展可能な社会を目指して

●松重 1月にスイスのダボスで開催された世界経済フォーラム年次総会¹、また7月に北海道の洞爺湖で開催される主要国首脳会議においても環境は大きなテーマとなっています。「京都議定書」の採択から約10年、いよいよ実行期間に入りました。それぞれのお立場で環境問題をどう考えるのか、その辺りから伺いたいと思います。

●湯川 (財)地球環境産業技術研究機構(以下RITE²)の事業としてもCO₂削減のための研究は大きな柱で、私はバイオ燃料をメインに研究していますが、EUでは持続可能型社会を目指してバイオ燃料も持続発展可能型で、なおかつ、トレーサビリティ³を導入しようという意見が主流になっています。技術革新のチャンスだというわけです。日本では環境といえば規制というマイナス面が強調されますが、もう少しプラスに考えることが必要ではないかと感じています。

●天野 EUでは電気・電子機器に含まれている有害化学物質の規制が始まりましたが、日本の電気電子機器業界は規制を着実に乗り越えることで産業としての競争力がアップしているというのが実感です。やはり日本全体でそうしたプレッシャーを乗り越えることが大事だと思います。



大阪大学 先端科学イノベーションセンター
特任教授 池田 順治 氏

●池田 かつて高度成長期に行っていた鉛フリーや大気汚染防止の研究はどれも個別最適の取組でした

が、今は環境への調和性を評価して全体最適を図る方向へ移行しつつあります。生活空間全体で環境を考え、その中で産業の創成はどうあるべきか、共生、共益型の持続発展可能な社会づくりをどうしたいのかといった考え方が必要です。

●山内 全体最適を図っていく役割を行政も担っていく必要があると思っています。京都府は「京都議定書」が発効した平成17年に「京都府地球温暖化対策条例」を策定し、京都府全体としてCO₂の10%削減を目標に掲げています。今年から第1約束期間を迎えるに当たり、府民全体の運動としてより発展させるための意識啓発に取り組んでまいります。また平成20年度を環境の「京都元年」と位置づけ、(1)府民運動の推進、(2)エコポイントシステム事業(家庭で節約した光熱量分をポイント制で還元)、(3)新エネルギーと省資源技術の導入(府庁屋上に太陽光パネル設置、屋上緑化)を柱に予算計上いたしました。

また中小企業対策として、平成20年度には環境に配慮した施設整備をされる中小企業への融資制度で新しくエコ・レートといった施策の導入も進めることとしています。

環境へのやさしさを競う企業を

●松重 企業の製品も環境にやさしくなければ売れないといったように価値観もずいぶん変化していますが、企業だけでなく誰もが環境に配慮して行動しなければならない世の中になっています。大学や研究機関自体もCO₂の排出源になっていますから、地域に対して貢献できる場を作っていく必要がありますね。

●湯川 地域に直接貢献することは中々難しいのですが、技術を実現化することで何らかのリンケージを作っていきたいと考えています。例えば京都では繊維産業や和菓子の餡の製造過程で大量のセルロースが出ます。そういった特殊な資源を利用した京都らしいバイオ燃料は考えられると思います。

●池田 今、環境を基軸にした新しい産業革命、「環業革命」が言われていますが、産業界も、繊維関係なら燃やしていた古い制服を有用なエタノール

¹ 毎年1月下旬に、年次総会をスイスの観光地ダボスで開催。日本ではダボス会議と呼ぶ。

² Research Institute of Innovative Technology for the Earth
³ Traceability 原料製造方法が明確となるシステム。

にするとか、また廃棄物ゼロを目指すとか、あるいは生活空間、都市空間もワンパッケージとして環境にやさしいかどうか、有限である地球環境をいかに守るかという切り口で、地球温暖化防止につながる社会システムのデザインを見直さなければならない時期に来ていると思います。私どもの先端科学イノベーションセンターでもそのような考えの下、産業興しや人の活躍の場づくりができればと広域連携、社学連携に取り組んでいるところです。



(財)地球環境産業技術研究機構(RITE) 理事
微生物研究グループ
グループリーダー 湯川 英明氏

●湯川 ただ、新聞等では、「日本の産業は環境において世界のトップレベルと言われていたが、今やEU、中でもドイツの取組の方が先進的ではないか」と言った論調も見られます。日本には1億人以上の人口があるので国内の市場で生きていけるところもあるのですが、国際化と言いつつそうした二重構造がある訳です。

●池田 発想の転換を産学官民皆でやらなければならないと思います。標準を制するものはマーケットを制すると言われるように、全体最適で標準化を推進するところがイニシアティブをとれるのです。個別の技術で、トップランナー方式で戦うだけでは生き残っていけないでしょう。

●天野 EUはRoHS規制⁴のように、まず枠組を作って細かい部分は様子を見ながら決定して行くのです。日本は法律も最初からガチッと決めてしまいます。これはやはり考え方の違いだと思いますが、EUは枠組みを作るのが非常に上手です。ただ、実際に運

用するのは日本の方が上手い。そういった文化の違いをブレイクスルーして、日本発の標準化を国際的に提案していく力が必要になってきます。例えば、水道事業とか下水道事業の国際入札は日本のチームが海外市場では勝てないのです。ほとんどヨーロッパ勢が握っています。個々の技術において日本は世界レベルのものがたくさんありますが、BOT方式⁵のビジネスでは、ほとんど勝った試しがないのです。これは日本の弱点ではないかと思えます。ここをやはり強くしていかないと、これから日本の産業は発展していかないと思えます。国際学会等に行きますと、日本からは学者中心に出ているのですが産業界からはあまり発表は行っていません。ヨーロッパからの報告者は、5割方はビジネスとアカデミズムの中間ぐらいのところをカバーしている人達が出てくるのです。あれを見ていると「これはまずいな。もっと産業界もどンドン出て行く必要があるな。」ということを感じます。



株式会社島津製作所 地球環境管理室
室長 天野 輝芳氏

●松重 国際的な視点が必要なこととして、リチウムイオンバッテリーの技術開発で日本はかなり進んでいるのですが、その資源は中国など海外にあります。ですからグローバルに、長期的視点に立たなければ産業も成り立って行かなくなります。環境の面で新産業を考えるなら、そうした問題も考えなければなりません。

京都発のエコロジー戦略を

●松重 京都という街を考えると、1200年以上も都として続いてきた訳ですが、その継続性の中に様々なアイデアや工夫がなされてきたのではないかと思うのです。
●天野 京都特有ということ言えば、数年前に京都市のある公立中学校の建設の際、PFI手法⁶が導入されました。京町家では自然を取り込む工夫がされていますが、そうした風・水・光・土といった要素をうまく取り入れた提案が採用されました。これはやはり京都の特徴だと思います。



京都府文化環境部
部長 山内 修一氏

●山内 今おっしゃったように、かつての自然と共生した生活文化を見直し、その上に立って京都の持つ知的財産をコーディネートしたシステムの構築が重要だと思います。主要国首脳会議・G8京都外相会合が6月に京都で開催されますが、これを機会に京都が育んできた環境文化や先進的な取組をメッセージとして発信して行きたいと考えています。

●池田 京都の良さとして街並みを挙げる方も少なくないと思います。産業の歴史から見ても、車空間、そして居住空間への付加価値を高めて来た訳ですが、それに加えてこれからは環境にやさしい地域空間としての付加価値を上げる、デザインしていくことが求められると思います。フランスのある都市では2015年に100%自然再生エネルギーで街を造ろうと

いう計画がすでに進行しています。水や大気、空間全体が環境に考慮していることをパッケージとした21世紀型都市空間の形成を、京都から発信することができればと思います。

例えば、人間がどれだけ自然環境に依存しているかを表すエコロジカル・フットプリント⁷という指標があります。暮らしの中で使用する食料や生活の中で排出したCO₂を吸収するために必要な森林面積を地球の大きさに換算すると、現在日本の生活レベルは地球2.4個分、アメリカは5.3個分、アフガニスタンは0.1個分と言われています。地球は有限ですから、私たちもこうした何かの目安を持って自分の生活を律して行くべきです。

エコロジカル・フットプリント(Ecological Footprint)とは、
どれほど人間が自然環境に依存しているかを、わかりやすく伝える指標であり、ツール(道具)です。

世界中のひとびとが日本人のような暮らしをはじめたら、
地球が約2.4個必要です!

世界中のひとびとが米国人のような暮らしをはじめたら、
地球が約5.3個必要です!

出典: NPO法人エコロジカル・フットプリント・ジャパンのサイトより
<http://www.ecofoot.jp/>

●天野 環境管理のシステムには国際規格のISO14001がありますが、それを中小企業向けにアレンジしたKES環境マネジメントシステム⁸という京都発の規格があります。現在、全国に広がり1,500以上認証しています。またマテリアル・フローコスト会計(MFCA)⁹とって、製造過程における資源等のロス分析、検討して省資源につなげるための管理会計システムの構築を京都府と一緒に取り組んでいます。

●山内 KESを取得していると京都府の制度融資を有利に活用することもできます。企業の方がなるべく自分で努力して環境行動を執れるようなシステムは重要です。

●松重 環境や防災について、近頃はCSR¹⁰の一環として積極的に取り組まれている企業も多くあります。京都に来ればそうした環境の勉強や研修ができるといったことで情報発信するのも一つのエコロジー戦略になります。

●湯川 京都市でもパーク・アンド・ライド¹¹や市

6 Private Finance Initiative 公共サービスの提供に際して公共施設が必要な場合に、従来のように公共が直接施設を整備せずに、民間資金を利用して民間に施設整備と公共サービスの提供をゆだねる手法。

7 Ecological Footprint 食料を作る面積や資源を得る面積・住宅、道路、工場など、一人の人間が生きていくために使っている面積をわかりやすく伝える指標のこと。

8 中小企業が低コストで環境に配慮した事業活動に取り組める仕組み。

9 Material Flow Cost Accounting 環境保全の活動を効果的・効率的に推進するため、環境負荷や環境保全の費用と効果を把握するための手法で2007年6月経済産業省から正式にISO/TC207へ国際標準化の提案がされている。

10 Corporate Social Responsibility 持続発展可能な社会を目指すために、行政・民間・非営利団体のみならず、企業も経済だけでなく社会や環境などの要素にも責任を持つべきであるという考えのもとに成立した概念。

11 Park and Ride 公共交通機関に乗り換えて目的地に行く方法。

4 Restriction of Hazardous Substances 電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令。

5 Build, Operate and Transfer 民間が資金調達して有料道路などを建設し、運営管理を一定期間実施して資金を回収した後に、施設の所有権を公共団体に譲渡する仕組み。

電復活の議論がありますが、もっとドラスティックに、「京都議定書」誕生の地として思い切った取組を期待したいですね。

けいはんなを環境共生都市へ



京都大学
副学長 松重 和美 氏

●松重 今までのお話から、けいはんな学研都市のあり方についてどうお考えですか。

●山内 けいはんな学研都市の課題は、連携システムに不十分な点があることです。相乗効果が発揮できるような、また地元の企業、産業にも活かしているようなシステムが望まれていると思います。

●天野 けいはんな学研都市の周辺や京都府内には環境技術を有する企業が多く存在しますし、RITEで開発されたCO₂の固定化など、技術としては確立されたものがあるのですが、それを事業化にまで持って行くのが難しいのです。そうした開発成果を企業がサポートする仕掛けの部分にももう少し工夫が必要だと考えます。

●湯川 新産業の創出という意味では、例えば大手企業はマテリアルとかエネルギーとか新しい分野には投資をする。そうすると、けいはんな学研都市は、筑波研究学園都市と違って、新しい21世紀型の研究集約型の、研究所からも廃棄物があまり出ないという新しい産業のスタイルで情報発信できるのではないかと思います。そしてもう1つ、基礎研究と事業化への中間段階の役割を果たす組織とが近くなければ、効率が悪い訳です。規制を緩めるなどして関係企業の研究所を、大規模な

ものではなくて半基礎、半工業的な施設をもっと誘致できるようにすれば活性化につながると思います。

●山内 京都府の新しいプランでも、研究開発と生産を一体化した施設を誘致していく方針が打ち出されていますし、以前から企業誘致に対しては税の特例措置や融資、補助金制度が設けられていますのでぜひ活かしていただきたいと思います。

●池田 今まで日本の産業はそれぞれが国際競争をして来ましたが、これからは産業の新しいコミュニティの形成が課題だと思います。例えばインテリジェントハウスがあり、エコカーやバイオエネルギーが活用され地域エネルギーの調達も100%ハイブリッド化するなど、トータルでデザインした新しいコミュニティをけいはんな学研都市から発信していく。もっと異なるもの同士が融合し、お互いに知の交差をすることで新産業が芽生える時代が来ていると思います。そのためには、コンセプト・メイキングが必要です。

●松重 集積はあっても連携がないのが現状ですね。コミュニティの形成には研究者たちの居住空間やコミュニケーションする場も確保しなければならぬと思います。施設として「私のしごと館」がありますが、あそこがもっと活用できればと思います。けいはんな学研都市の強みを発揮するテーマとして、環境、観光などがあることは間違いないですね。それに伝統産業といったものも入れられれば、なお良いですね。

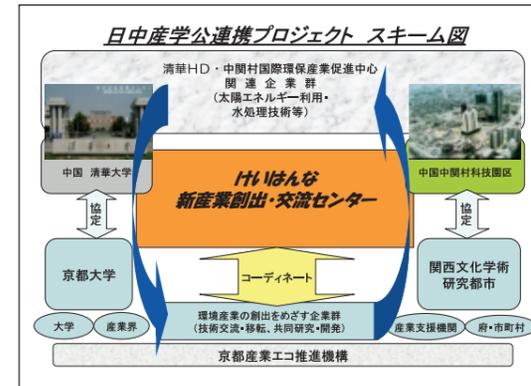
●天野 安全、安心に厳しく、それに対しても強いといった観点、技術も重要です。

●湯川 観光の面からは国際学会をできるだけ京都に招致することも大事です。けいはんな学研都市でシンポジウムをするときに「京都だ」と言うのとたくさん来てくれるのです。ただ、これも施設間の連携が不十分なのです。せっかく外国の方を呼びやすいところなのですからもっと改善すべきです。

●松重 最後にそれぞれのお立場で提言、あるいは要望をいただけますか。

●山内 けいはんな学研都市はステージを上げる節目の時期に来ています。そのためにも産学公という恵まれた資源を活かして京都の力、関西の力を結集し、新産業の創出につなげていただきたい

と思います。例えば、平成19年度には産学公推進プロジェクトのスキームを実施し、中国との技術提携が実現されたところでもあります。京都府の地球温暖化対策プランの中でも技術革新の支援・新エネルギーの普及のため、京都産業エコ推進機構を立ち上げ、推進することが謳われています。21世紀の新しい都市づくりと一緒に目指していただくことをお願いいたします。



●池田 京都の伝統を重んじながら、地球を救う志の下に、高いハードルで取り組む姿勢が必要です。エレクトロニクスと環境サイエンスをトータルで活用し、都市空間造りと合わせて仕上げていくような、目に見える形で実証することが大切です。そして環境教育をぜひ推進してほしいと思います。また、今後の期待として、一つのパッケージとして特区的に、今までの規制を取り払って、全体のデザインに基づいてシナジー効果の上がるような研究連携、インダストリー連携ができたらと思います。

●天野 企業、組織の社会的責任を考えていくときに、京都で長く続いている企業はどれもCSRの中心に創業者の事業と社会との関係についての強い思い、経営理念がしっかりとあるのです。そして大学・企業・行政間の垣根が低い、産学公連携の伝統があります。今後のビジョンやネットワークづくりにおいて、その特徴は忘れないでいただきたいと思っています。

●湯川 大きくはすでに述べたように集約型の研究都市を目指すことが重要ですが、そのためにもぜひ商業看板の規制をしていただきたいのです。落ち着いた雰囲気づくりは非常に大切です。そして駅なども含め、英語表記の案内を増やすこと。この二つはすぐ手を打っていただくようお願いしたいと思っています。

●松重 環境共生都市づくりを推進して行くためには、やはり産学公連携の仕組みを充実させてその知的集積を活かし、地域イノベーションを起こすことがまず必要です。それを地域から国、地球全体へつながるように情報を発信していくことが重要で、そのことが地域のあるいは日本の新たなブランド「力」を高めていくことになりまし、また京都のこれからの大きな責務ではないかと思っています。けいはんな学研都市はそうした実証実験の場としては最適だと考えます。本日は長時間、ありがとうございました。

気になる部位ごとの「皮下脂肪率」「骨格筋率」がわかる。

Karada Scan
オムロン 体組成計 カラダスキャン

オムロン体組成計「カラダスキャン」HBF-362
オープン価格

「人は外見より中身」
なんて言ったら、
中までチェック
されちゃった。

オムロンヘルスケア株式会社 購入前相談や商品の使い方などお気軽にお問い合わせください。オムロン お客様サービスセンター
〒615-0084 京都市右京区山ノ内山下町24番地 <http://www.healthcare.omron.co.jp> 受付時間 祝日を除く(月~金) 9:00~19:00(都合によりお休みさせていただくことがあります) ☎0120-30-6606

環境事業の取組について

けいはんな新産業創出・交流センターでは、けいはんな学研都市で進む環境プロジェクトや環境産業の育成に取り組んでいます。



けいはんな新産業創出・交流センターを架け橋に！中国と日本の環境関連企業の交流が実現。

環境関連の中国企業と日本企業（京都等、関西）が交流し、環境関連技術（上・下水処理、汚水・汚泥処理、土壌処理、ゴミ処理、大気測定・分析、新エネルギー）等について情報を交換するなど、けいはんな学研都市と北京市中関村科技園区との協定を基に活発な交流が始まりました。



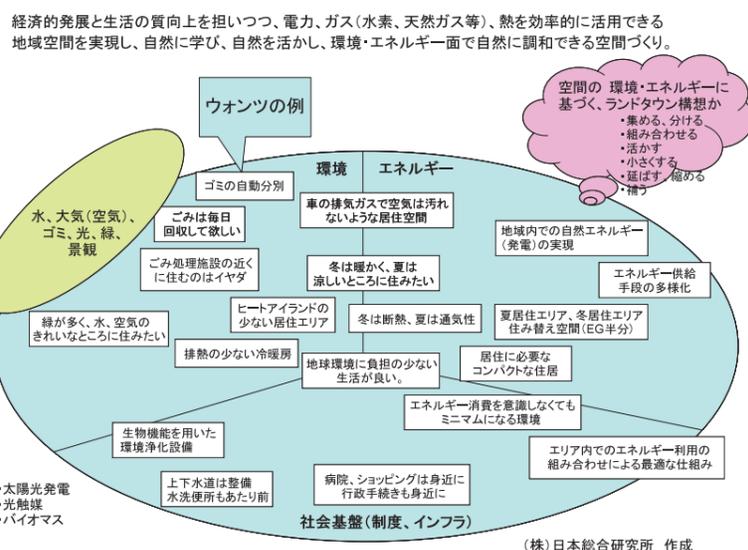
環境訪中ミッション「日中環境フォーラム」
2007年10月開催



環境訪日ミッション「日中環境ビジネスミーティング」
2007年12月開催

関西の産学公の英知を結集！けいはんな学研都市で初の「環境共生都市づくり」に向けてロードマップを策定

けいはんな発の環境技術の開発に向けた共同研究プロジェクトの創出を目指し、関西に拠点を有する企業、研究所等を中心に「異分野技術融合ロードマッピング」のためのワークショップを開催しました。これは「エネルギー自立・環境調和型居住空間及び地域空間の形成」の視点からニーズを見出し、異分野融合による新産業創出を「けいはんなモデル」として創出しようとするものです。



「環境・エネルギー研究会」の立上げ

けいはんな学研都市の有する研究開発力と産業支援機能を活かして、新たな環境・エネルギー産業の創出による持続発展可能社会の実現に向け「環境・エネルギー研究会」を設立しました。

今後、エネルギー自立の地域と住宅と車のハイブリッド空間の形成をテーマに、大学・研究機関、企業、自治体等に呼びかけ、継続して研究会を開催し、プロジェクトの創出につなげていく予定です。

京都府けいはんなベンチャーセンター

学研都市から羽ばたけ 輝くベンチャー



有研テック



機械設計開発：真城 晴夫
所在地：[事務所] 〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台1-7 けいはんなプラザ ラボ棟6階
TEL：0774-95-5055
FAX：0774-95-5056
E-mail：ariken@kcn.jp
[工場] 大阪府寝屋川市楠根南町34-13

廃ゴムを再利用するための脱硫装置の開発及び、その運用プロセスの確立

現在の、車の廃タイヤ処分に関しては、リサイクル率が88%と高い水準ではあるのですが、その8割以上を燃料としてのサーマルリサイクルが占めています。厄介ものの廃タイヤの場合、不法投棄、野晒し等が後を絶たず、大きな社会問題ともなっております。私たちは、それらの現状を解決するためには、廃タイヤ、廃ゴムの付加価値を上げるしかないと、鋭意研究開発を続けてまいりました。タイヤの場合、ゴムと、金属、合成繊維からできていますが、これらを分離し、ゴム部分のみにした物を粉砕します（#40メッシュ程度）。これを溶剤と混合してゲル状化させ、高温、高圧をかけることで、ゴム分子の架橋を切ることが可能になります（脱硫の促進）。私達の脱硫ゴムは、その進行度合いを高めることによって、パージンゴムと同等の原材料としての用途を目指しております。

株式会社 H&C技術研究所



代表：田原 修
所在地：〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台1-7 けいはんなプラザ ラボ棟4階
TEL：0774-98-2291
FAX：0774-98-2309
E-mail：hc@handc-techno.co.jp
URL：http://handc-techno.co.jp

人と社会の健康的な空気環境形成のために

長年培った空気浄化技術をベースに健康的で快適な生活環境の提供を目指して、殺菌・脱臭・集塵技術の高度化基礎研究から健康機器のオンリーワン商品開発・製造販売までの一貫した事業を推進しています。

1. 空気清浄機事業：光触媒式空気清浄機の受託開発・保守・修理、鳥インフルエンザウイルス不活化システムの研究（大学と共同研究中）、及び空気清浄機の応用商品である花粉吸引ブラシを製造販売しています。
2. 空気浄化用高性能触媒事業：活性炭ハニカムをベースとした光触媒ハニカム炭、CO分解ハニカムなどの高性能ハニカムの研究・商品開発を行っています。

有限会社 キャトルアイ・サイエンス



代表：上島 豊
所在地：〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台1-7 けいはんなプラザ ラボ棟5階
TEL：050-3356-9006
FAX：050-3356-9006
E-mail：info@i4s.co.jp
URL：http://www.i4s.co.jp/

学術・民間R&D分野の統合支援ソフトを販売

従来のERPやデータベース、グループウェアではカバーしきれなかったR&D分野の研究開発統合支援システム:RCM System Softwareを開発し、パッケージ販売をしております。すでに、東京大学、大阪大学、高エネルギー加速器研究機構、宇宙航空研究開発機構、防災科学技術研究所などに採用され、多人数大規模実験での研究環境や多数のシミュレーション実施を必要とする研究チームなどで導入、利用が進んでおります。業務管理、生産性向上の分野では、ERPやSCMなどのミドルウェアを適応したIT活用が普及していますが、R&D分野においては、定型化の困難性からシステム化が進んでおりません。弊社は、真の創造性の原点であるR&D分野に検索性、情報共有性、トレーサビリティと強力な自動化をもたらすWorkflowエンジンを導入することにより、R&D分野においてシステム化を加速させます。そして、研究者の創造性発揮と研究開発のスピード化を両立させる研究開発統合支援システムのリーディングカンパニーとして成長していきます。

京都府 けいはんなベンチャーセンター 入居案内

「京都府けいはんなベンチャーセンター」は、公的機関が運営するスタートアップベンチャー向けのインキュベート施設です。低廉な価格設定と関西学術研究都市内に立地する優れた研究環境、「けいはんな新産業創出・交流センター」による事業支援で、入居企業の事業拡大を力強くバックアップいたします。

所在地 京都府相楽郡精華町光台1-7 ラボ棟4～6階北側

使用負担金 15,000円/月～（1年目…傾斜家賃制）[学生特有利] 敷金・礼金・保証料なし 使用期間…3年

※入居募集の期間、入居の条件、使用負担金の詳細等については、お問い合わせください。審査の結果、ご希望に添えない場合もございますので、ご了承ください。



連絡先：けいはんな新産業創出・交流センター 事業部
TEL/0774-98-2230
E-mail/venture@keihanna.biz

日本伸縮管株式会社

代表取締役 岩本 泰一 氏

プロフィール ● Profile

関西学院大学 経済学部卒 専攻：経済変動論（長岡ゼミ）
 卒論テーマ：『日本的経営とアメリカ的経営』
 Holy Names College CALIFORNIA 留学
 商社でCAD/CAMシステムGr.に所属 マシニングセンタ、プラノミラー、ワイヤーカット、
 5軸レーザー加工機等NCマシンの3D/CAD-Operate, NC-Programming に従事
 1989年、父経営の当社へ弟（現常務）とともに入社し、製造部 溶接・組立部門で実技経験を積んだ後、設計部（現エンジニアリング部）へ。
 2000年、代表に就任



【会社概要】

〒619-0237
 京都府相楽郡精華町光台3丁目2番18号
 TEL：0774-95-3900
 FAX：0774-95-3905
 URL：http://www.neuron.ne.jp
 E-mail：info@neuron.ne.jp

【東京オフィス】

〒141-0022
 東京都品川区東五反田1番10-7号
 AIOS五反田ビル
 TEL：03-3446-5565（代表）
 FAX：03-3446-6377

【門真工場】

〒571-0003
 大阪府門真市大字下馬伏47番2号

【事業内容】

各種金属製伸縮管継手設計製作
 各種フレキシブルチューブ設計製作
 各種ベローズ設計製作
 金属分析
 応力解析

モノ造りの拠点・大阪東部で技術力を磨き、研究開発の充実と更なる業務
 拡充を図るため、2007年7月、けいはんな学研都市（精華町光台）に新社
 屋を設立した。

21世紀が求めるプラントシステムを「ニューロン」テクノロジーで創造します。

昨年話題になったテレビドラマ「華麗なる一族」をご覧になった方も多いはず。その中で、俳優の木村拓哉さんが演じる主人公が夢を掛けて建設していた大高炉が爆発・炎上するシーンがあった。高炉は配管の塊（かたまり）と言う。この網の目状に張りめぐらせた配管のつなぎ役を担い、熱膨張や振動を吸収、配管を保護する役割を担うものを「伸縮管」という。巨大なパイプラインの中にあっては縁の下力持ちだが「あの爆発シーンにあった高炉には伸縮管がいっぱい使われているのですよ」と関係者は説明している。

エネルギー、製鉄、都市、環境分野・・・とあらゆるプラントシステムにはさまざまなパイプラインが使われている。年々、高度化するパイプラインの配管システムをつなぐ「神経管」としての伸縮管にもおのずと精度の高さが求められている。伸縮管は、継ぎ手の部分が伸び縮みすることで、熱膨張や振動を吸収して地震や地盤沈下によるパイプの破断防止に役立っている。パイプラインの安全装置と言われるのはこのため、次世代伸縮管の研究開発メーカーとして、英語で神経細胞を意味する「NEURON（ニューロン）」をいち早く商標として登録。2007年7月、けいはんな学研都市に竣工した新社屋を「ニューロン・ラボ」と名付けた。

同社は、岩本泰一社長の父が1973年、大阪府門真市で創業した岩本鉄工所が前身。その後、四条畷市、大東市と順次社屋を移転、業態の変遷に合わせて2000年に「日本伸縮管」に社名を変更した。モノ造りの拠点・大阪東部で技術力を磨き、現在地のけいはんな学研都市（精華町光台）に本社・工場を移転した。

売上は約10億円、従業員30人弱で業界の中では中堅規模にある。売上構成は上下水道、クリーンセンターなどの環境プラント向けが28%、バイオマス、発電、コージェネレーション、熱交換器向けが26%、都市建設プラント15%、化学・食料プラント8%の順。重厚長大型のプラントビジネスと極めて関わりが深い。

全体で約500億円の業界規模と言われる中で、同社

は汎用品より受注生産に特化している。国内の競合メーカーは約30社。このうち個別設計・製作は10社程度と言われる中で、最新鋭の特殊成型機を駆使して上場企業のプラントをことごとく受注している。



「この業界は、1社の売上高は最高でも30億円程度で頭打ち。つまり、製造ラインを造って大量生産出来る業界ではない。受注品をいかに生産するか、クラフト・職人芸の世界だ」と岩本社長は割り切る。当面の売上高を12~15億円を適正規模とみており、それよりも技術力の向上、社員のレベルをどこまで引き上げられるかを経営の最重要テーマと位置づけている。社員数の限度も最高30数人と決めており「従業員の待遇面や会社全体にとって居心地の良い環境」とみている。

小さい業界でありながら、個々の企業にとって伸縮管は付加価値の高い商品だけにこれに安住してきた弊害も大きい。金属疲労や腐食といった金属にとって避けて通れない課題を抱えながらも技術革新については特筆すべき進化がほとんどない。伸縮管の形状が数十年間変わらなかったことなどもその一例に挙げられ「成熟した業界をリードする使命が弊社にある」と、ここ数年は、売上高に占める研究開発



環境に配慮した日本伸縮管の全景 (けいはんな学研都市)

費のウエートが年々高まっている。

当面の課題は新しい形状や素材の開発に向けた研究開発。本社近くに立地している同志社大学工学部と委託研究契約を結び、つい最近2年間契約を更新したばかり。

テーマは、①金属疲労が起きない金属 ②熱膨張が起きない金属。「夢の金属」と言われるこの二大テーマに全力投球する構えだ。従来の問題点をしっかり押さえた上で、金属疲労を防ぐには既存のU字形状以外の新形状の開発、金属腐食に対しては樹脂・カーボンなど新素材や金属ペローズ (伸縮管継手の蛇腹のようになった部分) に代わるものや、金属ペローズの内面の腐食処理技術開発。これらを進めた上で、強度解析、振動装置によるデータ集積、そして腐食環境下での耐久実験を経て新しい強度基準 (新JIS規格) を構築し、新商品・グリアペローズの開発につなげていく方針。



技術力をPRするUFO型のオブジェ

すでに同社には、将来の金属の姿を描いたオブジェが来訪者の目を引いている。正面玄関右側にあるUFO型のオブジェだ。直径4メートル四方のオールステンレス製で金属を流線型に加工するには精度の高い特殊成型技術が必要とされており、それを見事実現したものという。また、オブジェの周辺にはビオトープを整備、将来はモロコヤやタナゴなど日本古来の動植物を再生し、子供たちに夢を与えたいと環境整備にも力を入れている。

また、環境に配慮した企業運営が日本伸縮管の大きな特徴だろう。その代表例が屋上での緑化システムの採用だ。これまで、周辺地域との環境保全の調和といった面では不十分だったため、新社屋建設を機に新しい試みに挑戦した。ビルの屋上が棚田のように、四季ごとの花壇、菜園、芝生の3ゾーンに知能化管理システムを採用している。土中の湿度や気温のデータを基に3時間後の気象予報データを組み合わせ、必要な時に点滴チューブから水やりをする仕組み。このシステムは土壌がある程度乾燥していても、しばらくして雨が降るとロボットが判断した場合は水やりをしない知恵を働かせる。2つ目の環境対策は雨水再利用管理システム。本社地域の年間降水量を1平方メートル当たり約1,500ミリと推計、会社の屋根には年間1.5リットルペットボトル換算で8万6000本の雨が降る。これを屋上からの配管を通して地下式水槽に蓄え、ポンプで汲み上げて再利用している。この他、太陽光発電システム、ビオトープによる希少動植物の育成・保護など環境創

生を掲げるけいはんな学研都市にふさわしい対策に取り組んでいる。「当社のような金属製品製造業は、環境に適したものばかりではない。その反省の上に立ってせめて自社の敷地内で出来る対策は考えよう」と岩本社長は動機を語る。

同社を筆頭にここ2-3年他の地域から、研究開発型生産設備を備えた中小・中堅企業のけいはんな学研都市への進出が増えている。なぜだろうか…。岩本社長によると進出基準のストライクゾーンがぐんと広がったことがもっとも大きな要因

という。こうした各種規制緩和に加えて、かゆいところに手が届くようなサービスが最近の学研都市のひとつの特徴という。「精華町・京都府立地関係者が一週間に一回、企業訪問に回っている。我々にとっては心強い限りです」と行政の対応にも熱い期待を寄せている。けいはんな学研都市の若手経営者・企業人の今後の活躍が大いに期待される。

社内の様子



1Fエントランスホール



代表取締役 常務 岩本 康浩氏
同じものが2つとない商品を扱っているので、顧客の要望を正しく的確に現場へ伝えることが重要。



伸縮管を利用した筆立てや傘立て。



品質保証部 部長 安達 辰美さん
屋上菜園は私の担当。



総務部 貝瀬 有香さん
きれいな事務所は気持ちいいです。



品質Gr. 栗林さん・古川さん
「SPEED&SAFETY!」

けいはんな学研都市 光台

研究開発機能を有する生産施設の立地も可能です。

約0.5ha

約0.4ha

ベンチャービレッジ第2期

随時受付中

至祝園駅・新祝園駅

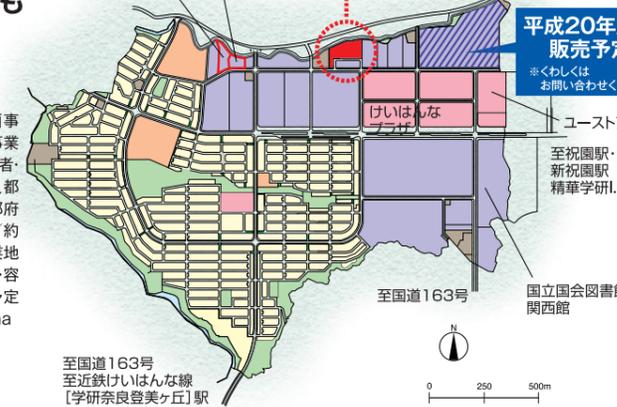
詳しい情報はインターネットホームページをご覧ください。

URの事業用地 検索

<http://www.ur-net.go.jp/business-kansai/>

[光台概要]

- 事業名称/相楽都市計画事業 祝園特定土地区画整理事業 (事業完了)
- 事業主体/所有者/土地の貸主/独立行政法人都市再生機構
- 所在地/京都府相楽郡精華町
- 施行面積/約202ha
- 用途地域/準工業地域
- 地目/宅地
- 建ぺい率/60-200%
- 募集予定画地面積/約0.4ha、約0.5ha



平成20年度中販売予定

※くわしくはお問い合わせください

ユースタ

至祝園駅・新祝園駅 精華学研IC.

街に、ルネッサンス

UR 都市機構

独立行政法人 都市再生機構
西日本支社 募集販売センター
施設用地販売第1チーム
〒530-0001 大阪市北区梅田2丁目2番22号
ハービスエントオフィスタワー13階

●事業用地に関するお問い合わせは

06-6346-3097

事業参加 土地活用 住宅用地 事業用地 店舗・事務所 社宅向け UR賃貸住宅

国際創造都市フォーラム
文部科学省「先端融合領域イノベーション創出拠点の形成」課題 採択記念

けいはんな「光医療産業 バレー」シンポジウム開催 「未病治す、切らずに治す」実現へ一層の加速を!

2007年12月6日(木) けいはんなプラザにおいて、けいはんな「光医療産業バレー」シンポジウムを開催しました。

「光医療産業バレー構想」は、立案から3年目を迎えました。昨年5月には文部科学省の大型プロジェクトである「先端融合領域イノベーション創出拠点の形成」課題に採択され、これを記念し、「けいはんな光医療産業バレー研究会」が取り組んでいる光技術の医療応用や工業応用の最新の状況を、医療関係者をはじめ、企業、研究機関、大学関係者や住民の方々にご紹介しました。

当日は、200名を超える皆様にご参加をいただきました。



兵庫県立粒子線医療センター 名誉顧問
京都大学 名誉教授
阿部 光幸 氏



「けいはんな光医療産業バレー研究会への期待」

現在、日本人の死亡原因の第一位はがんです。治療法は外科(手術)、放射線治療、化学療法が3本柱になっています。放射線治療は更に、X線によるものと、陽子線や炭素線のような粒子線によるものとに大別されます。ところで、この粒子線は、X線に比べ、患部に集中照射できるので、患部以外の正常組織への副作用が少ないこと、また、細胞内のDNA破壊力が強く、がん細胞を破壊する力が強いことが分かってきました。

粒子線治療は1946年、米国のウイilsonが、陽子線をがんの治療に使えるという論文を発表したことに始まり、1954年米国ローレンスパークレイ研究所で陽子線によるがん治療が開始されました。その20年後の1974年、日米がん研究協力事業がスタートし、そのプロジェクトの一つに日米協力による粒子線治療の研究が取り上げられました。これが、日本における粒子線治療研究の始まりです。その結果、1994年に千葉県の放射線医学総合研究所で世界初の炭素線治療が開始され、2001年には兵庫県に世界最初の陽子線と炭素線の両方の治療ができる施設として兵庫県立粒子線医療センターが完成しました。現在、日本では陽子線また炭素線治療施設が6箇所、米国では6箇所まで陽子線治療が行われています。

2004年第三次対がん10ヵ年総合戦略が発足し、粒子線治療装置の小型化、低価格化を重点課題とすることが目標に定められました。また同年、文部科学省の主導で粒子線がん治療装置の普及を目指した勉強会が発足しました。更に2006年のがん対策基本法が制定され、がん治療の均てん化(注)が推進されるようになりました。

こうした状況を踏まえて2007年、けいはんな学研都市所在の(独)日本原子力研究開発機構関西光科学研究所が中心となって申請された小型低価格粒子線治療装置の実現を目指した「光医療産業バレー拠点創出プロジェクト」が科学振興調整費プロジェクトに採択されました。現在、粒子線治療は国内では6箇所で行われていますが、装置が体育館サイズの大型で高価なため、施設数も少なく治療費も高価で、治療を受けられる患者は限られています。粒子線治療装置の小型低価格化が実現すれば、どこでも、いつでも、だれでも質の高いがんの治療を受けられるようになります。またこの研究プロジェクトによって、装置の普及が推進されると同時に、将来、がん病巣を確認しながら照射できるという、非常に精度の高い粒子線治療が実現されるでしょう。

以上のことより、けいはんな「光医療産業バレー研究会」に対して、粒子線治療装置の小型低価格化を実現し、「いつでも、どこでも、だれでも」の理念の下、地域医療へ貢献されるよう期待します。

(注)均てん化：全国どこでもがんの標準的な専門医療を受けられるよう、医療技術等の格差の是正を図ること。

光医療産業バレー研究会 及び 重点研究分科会メンバー募集

光医療産業バレー研究会では、シンポジウムのほかに毎月開催の研究会、随時開催の専門技術を掘り下げる重点研究分科会、見学会などの活動を行っています。

現在、研究会及び分科会のメンバーを募集しております。本活動に関心をお持ちの方は、事務局にお問い合わせください。特に、医療機関、医療産業、研究機関、大学、自治体等の関係者で本活動に積極的にご協力いただける方のご参加を期待しております。

- 実施** 毎月第3水曜日(研究会)、年1~3回程度(各分科会)
- 場所** けいはんなプラザ(予定)
- 会費** 無料
- 入会** 研究会世話人会の承認をもって正式入会とします。規約の遵守をお願いします。規約の入手については事務局までお申出ください。
- 事務局** けいはんな新産業創出・交流センター プロジェクト総括室
TEL : 0774-98-2240 FAX : 0774-98-2202
E-mail : hikari-valley@keihanna.biz

中小企業の隠れた強みを活かす知恵ビジネス

— あなたの会社にとって「強み」とは何ですか? —



京都工芸繊維大学 地域共同研究センター 准教授
京都大学 公共政策大学院 非常勤講師

中森 孝文 氏
Nakamori Takafumi

Profile ●
【専門分野】行政学、産学連携学、中小企業の知的資産経営
【著書】中小企業の真の強みを活用する
知的資産経営報告書の事例集, 2007

中小企業の隠れた強みとは、なかなか掴みづらいものです。経営者の方々でさえも把握されていないケースが少なくないのではないのでしょうか。

まず、企業の強みを考える前に人の行動について考えてみたいと思います。例えば、少し重い病気がかかった場合に、何の事前情報もないときに、皆さんはどういう視点で病院を選ばれるのでしょうか。何の知識や情報もなければとりあえず大手（大手の病院）を選ぶと思うのです。大手を選ぶという行動は、購買活動や就職など様々な場面でみられます。

では何故、大手を選ぶのでしょうか。そこには、「ここにしておけば大丈夫」という安心感と期待感が根底にあるからです。そして、安心と期待の基礎となるものは信用と信頼

だと思うのです。ですから、信用と信頼が得られれば、おのずと安心と期待に繋がっていくものだと思うのです。そして信用と信頼の源泉は何かという技術であったり、社長の人柄であったり、歴史であったり、他人の評価であったりすることが信用と信頼の源泉になっているのではないかと考えています。

この部分をお客様に分かりやすく伝えることによって名前があまり知られていない中小企業であっても取引が開始されるのではないかと考えるのです。

このような、技術や経営方針、会社の歴史や評価といった無形の強みを、知的資産と呼んでいます。

知的財産という言葉が最近耳にされるのですが、知的財

産とは特許権などの権利化された無形の資産であって、知的資産はそれよりも広義のものを指します。特許を生み出す従業員の技術力やノウハウ、ネットワーク等の無形資産が、企業の強みの源泉であると捉えているのです。そして、この無形資産をうまく活用することによって持続的な発展や新しい価値を生むことが可能になるのではないかと考えているのです。

例えば、京都の雛人形の発祥にこだわった職人さんが、昔ながらの作り方（伝統）を今でも忠実に守り続けているという小さな人形店があります。良いものは手を抜かず、きちっと作っていくという経営理念がそこにはあります。このこだわりの理由や内容をきっちりと整理して、伝えていくことが有効ではないかと思うのです。

そもそも雛人形は、女の子の健やかな成長を祈るお守りと言われていています。このため値段の高低に関わらず、昔ながらの技法を忠実に守りながら一体一体を丁寧に手作りしています。単に「京都」という地域ブランドだけでモノを売るのではなく、「お守り」という雛人形本来の役割を意識しながら心を込めて作るという企業理念が製品まで貫かれていることを整理し、お客様にご理解いただくことができれば、例え名前の通っていない人形店であっても、商品は必ず売れるということを教えていただきました。

また、あるお寿司屋さんの話ですが、お寿司は人間が一日に必要なアミノ酸をほぼ一食で摂ることができるという「強み」があるそうです。ところが食中毒の危険と値段が不透明という「弱み」があったために、安心・安価を追求するという経営理念を掲げて回転寿司を始められました。そして、時間管理システム（時間が来たら自動的にお寿司を廃棄していくシステム）を導入し、鮮度管理を十分に行った上で全皿100円という値段にも挑戦されました。

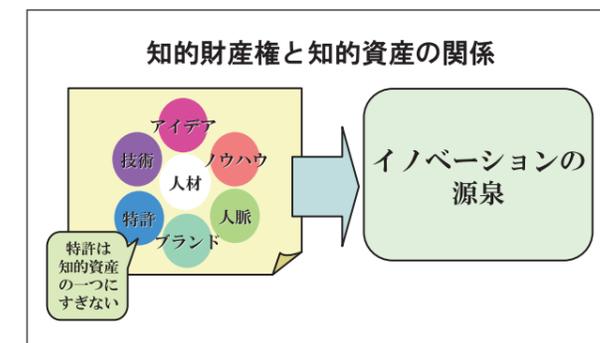
更に、食べた後のお皿の回収システムといった見えないところの清潔さにも気を配り、安心で安価なお寿司の提供を続けられています。そしてこの会社は現在ではアメリカに進出するほど伸び続けている訳です。安心・安価という経営理念が、普段は顧客が目にする事ができない部分にまで貫かれているということが、結果的に顧客の評価に繋がっているという好例です。

知的資産というのは、顧客が何に評価ポイントを置いているのかを経営者が明確に知ることで、今以上に会社を良く

することができます。顧客が見ている事と評価しているポイントは必ずしも同じではないということです。顧客が評価するポイントを掴みそれを意識した経営を実践することが重要ではないかと思うのです。

従来、企業経営では、資金力、土地、設備等の有形資産が重要視されることが多かったのですが、無形の資産の重要性が増してきていると言われていています。この無形資産も、知的財産権のような権利化されたものだけでなく、冒頭で申しました知的資産が重要だと思っております。

この知的資産の存在と、活用の実態について開示する知的資産経営報告書¹というものの作成を通じて、経営者と従業員の知的資産に対する価値の共有を促すとともに、顧客や金融機関の評価の向上に繋げていくという取組を実施しています。



ところが、知的資産という無形資産の捉え方は緒に就いたばかりで、重要性は理解されてもその活用に向けた取組は、まだまだ十分でないと思うことが少なくありません。更に知的資産は無形であるがゆえに、見過ごされる強みが少なくありません。そこで、従来それほど意識されていなかった知的資産を活用した、伝統産品のプロジェクト事例をご紹介します。京都には京焼・清水焼といった非常に高価で立派な伝統産品がたくさんあります。しかし、職人の高齢化と売上の低迷について悩みを抱えておられました。

そこで京焼・清水焼の強みを活かしたプロジェクトのお手伝いをさせていただきました。一般的に、京焼・清水焼の強みは、色彩豊かなデザインや高いブランド価値だと言えます。しかし、それらは一般人でも目にする事のできる強みであって、別に隠れた強みが潜んでいるのではないかと考えました。そして、京焼・清水焼の色彩やデザインを実現するために、高度な素地調査技術が構築されている

1 「知的資産」を活用した企業価値向上のための活動（価値創造戦略）を、ステークホルダー（利害関係者）に分かりやすく伝え、ステークホルダーとの間で企業の将来性に関する認識の共有化を図るために作成される報告書 出典：経済産業省、知的資産経営の開示ガイドライン

ことが見つかりました。土や陶石の産地ではないという弱みを克服した技術が集積しています。これと、セラミックや焼成技術などが融合すればハイテク電子部品などに結実するという訳です。

一方、食洗機で洗えないという、高級磁器を取り巻く現代の大きな弱みがあることも判明しました。そこで、強みである素地調合技術を用いて弱みを克服し、食洗機に強い高級磁器を開発するためのプロジェクトを提案しました。お陰さまで本プロジェクトは経済産業省の地域資源活用型研究開発事業に採択され、現在、関係機関で研究開発が進められています。門外漢の視点から強みを眺め、顧客の視点から弱みを眺めることが、競争力のある真似のできない製品の開発には必要であり有効であると思うのです。心理学の世界でも視点を変えることにより、同じ問題でも正答率が大きく変わることが報告されています。

このように、無形の資産である知的資産の存在とその有効

性を見抜き、活用ストーリーを考え実践することが有効であると考えられますが、そこには活用に向けた気付きが必要であり、その気付きには知恵が必要だと思えます。知恵とは、偶然をうまく捕らえる力であると換言できます。ですから、日頃から偶然を掴む準備（何をどうしたらいいかを考えておくこと）をしておく必要があると思うのです。

つまり、経営者だけでなく従業員が一体となって偶然を掴む準備が必要です。自社の無形の強みに気付き、その活用方策を従業員とともに考え続けることが偶然を掴む準備となります。これには、人をコストとしか考えないような経営方針でなく、人を資産（アセット）と認識する経営理念が馴染みやすいと思えます。

人は知恵の源泉でありアイデアの源泉です。人を資産と考えることで、偶然を上手く捉えることができるのではないのでしょうか。

「科学のまち子どもたち」プロジェクト発足 ……………

— 研究所、研究者、そして科学をもっと身近に！ —



「科学のまち子どもたち」プロジェクトは、「研究所、研究者、そして科学をもっと身近に！」をコンセプトに、子どもたちにけいはんな学研都市ならではの「教育機会」を提供することを目指しています。

こうした取組のひとつとして、主に学校関係者の皆様にけいはんな学研都市の主要な研究機関の研究内容をご紹介するとともに、研究者との出会いと対話の場をご提供し、相互の交流を深めていただくためのフォーラムを開催しました。今後、研究者による「出張授業」など、交流・連携の具体的な取組が始まることを期待しています。



フォーラムの様子
(2008年2月16日(土)
けいはんなプラザ 交流棟3F「ナイル」)

問合せ

(財) 関西文化学術研究都市推進機構
TEL : 0774-95-5105 URL : <http://www.kri-p.jp/>

中小・ベンチャー企業支援の取組メニュー

けいはんな新産業創出・交流センターでは、
①コーディネータ等を中心とした販路拡大支援 ②ビジネスマッチングを目的としたフォーラム ③経営スキル向上を目指したセミナーを開催するなど、中小・ベンチャー企業の活動を支援しています。

新支援メニュー

官公需への採用促進支援 (SPSGNP) について

中小・ベンチャー企業の独創性豊かな製品や技術を自治体が試行的に購入する「トライアル発注制度」は、平成19年10月現在、41都道府県で実施されていますが、利用率はまだ低いのが現状です。

けいはんな新産業創出・交流センターでは、中小企業や起業間もないベンチャー企業を対象に、開発した商品の販路開拓支援として、地元自治体と協議し、ベンチャー・中小企業が官公需で契約実績を挙げられるよう、実効ある仕組み作りを目指しています。

- 新規開業者に対して官公需施策の普及啓発を行う。
- 新規開業者に対する随意契約による発注枠を設けるよう、自治体等に要望する。
- 新規開業者の事業を官公庁等に対してアピールする場を設ける。

(例) 官庁向け技術説明会の開催等

SPSGNPとは、Strategic Purchasing Scheme of Governments for New Products (官公庁等による中小・ベンチャー企業向け新製品買上促進計画) を表現したものです。

問合せ けいはんな新産業創出・交流センター事業部
TEL/0774-98-2230 FAX/0774-98-2202



科学論説懇談会 ……………



文部科学省記者会加盟各社の科学技術・学術担当の論説委員らで構成する科学論説懇談会(幹事・日比野守男東京新聞論説委員)の一行が、このほどけいはんな新産業創出・交流センターを訪れ、関係者と意見交換をしました。

センターの役割や光医療産業バレー構想など最近のトピックスを紹介し、これに対して記者側からコーディネーターの数や活動状況、けいはんな発のシーズから事業化に結びついた事例の具体的な状況など突っ込んだ質問が相次ぎ、けいはんな学研都市に対する記者の関心の高さを示していました。

「四機関+1」連絡会 開催 ……………



2008年1月21日、「四機関+1」連絡会を開催いたしました。これは関西を舞台に事業活動を展開している、新事業支援機関が、コーディネート事業の現状と課題について情報交換を図るとともに、相互協力によるマッチング成果の拡大を目指すものです。同連絡会は、暫く開催を見送っていましたが、この度、京都リサーチパーク(株)(京都市)、(財)新産業創造研究機構(神戸市)、弊センターに加え、新たに(財)大阪産業振興機構・東大阪クリエイション・コアが加わり、(社)関西経済連合会のオブザーバー参加を得て、エリアワイドな取組が進められるよう再開いたしました。今後、年1、2回のペースで、各機関の持ち回りにより開催して行く予定です。

KITコミュニティ会員募集

KITコミュニティは、新事業創出を目指す企業・機関・個人で構成される『顔の見える人的ネットワーク』です。新技術・新商品の保有者、利用者、支援者の3者が連携してイノベーションを起こしていくことから、Keihanna Innovation Triangle を略して、KIT (キット) コミュニティと呼んでいます。

会員の皆様が、けいはんな学研都市とその周辺にある知・財・組織のポテンシャルを最大限に活用し、企業同士や大学等との効果的な連携を展開することにより、世界に通用する新事業が次々と創出されて行くことを期待しています。

【KITコミュニティ会員のメリット】

- コーディネータ、専門家による新事業創出支援、経営相談など
- フォーラム、展示会、センターホームページでの新技術、新商品、ビジネスプラン等の発表機会を提供
- 事業化を目指す研究会、プロジェクト活動への参画を支援
- 公的支援情報、イベント情報、ビジネス情報や会員情報などをメールで配信
- 入会金、会費等は無料



問合せ

けいはんな新産業創出・交流センター 事業部
TEL : 0774-98-2230 FAX : 0774-98-2202

エキスパート・ボランティア募集

あなたのキャリアで新事業を育てませんか！
けいはんな学研都市エリアを中心にコーディネートを行い、様々な事業化支援活動に取り組んでいただける「エキスパート・ボランティア」を募集しています。

募集要領

対 象：情報通信・IT、化学、機械、材料、電気、バイオ、マーケティング、経営管理、産学連携、知財等に関する専門知識、経験をお持ちの50代～60代の方。

応募資格：パソコンをお持ちで、E-mail、インターネットをえる方。月1回・大阪中之島センタービルで開催される定例会に出席できる方。

注 記：無報酬のボランティアです
(交通費等活動に伴う実費は支給。)

問 合 せ：けいはんな新産業創出・交流センター
大阪オフィス
TEL : 06-6441-9213 FAX : 06-6441-9347

エキスパート・ボランティア制度について

企業のOBがボランティアとして活動するエキスパート集団です。長年にわたる知識と経験、幅広い人脈を生かし、技術マッチングや販路拡大支援など、幅広いコーディネート活動に取り組んでいます。



Welcome to けいはんな

本コーナーでは、スタッフおすすめの、けいはんな学研都市の見どころ、グルメスポットを紹介します。



リポーター
大阪オフィス所属
天野 了一
愛称：あまやん

薬膳スープカリィ「アジャンタ」

札幌で営業マンとして赴任していた沼島さんが、名物店「アジャンタ」のスープカリィの美味しさに感動し、脱サラと修業を経て、「のれんわけ」を受け、平成12年に地元けいはんなで開店したお店です。関西で食べられるのはここだけ!31種類のスパイスと、高麗人参、枸杞、杜仲など13種類の生薬をバランスよく配合し、朝から6時間以上もかけて心を込めて煮込み、昼前によく完成する「薬膳カリィ」は一日50食限定。丸ごと入った鶏の足や野菜は、とろけるように柔らかい味わいです。別添の「マサラ」で辛さも調節可能。「続けて食べていただくことで、体質が改善され、滋養強壮、冷え性、食欲不振、健胃など、様々な効果が出てきます。体によいだけでなく、お子様から女性、年配の方まで、幅広く楽しんでいただけるよう、関西人の口に合ったあっさりともろやかなお味に仕上げています。」



平日(火～金)のランチにはサラダとチャイまたはラッシー付き。



【住 所】奈良市押熊町397 有 (けいはんなプラザから車で5分)
【電 話】0742-52-3911
【営業時間】11:30～15:30、17:30～売り切れまで
【定 休 日】月曜定休(祝日の場合は火曜振替)
【U R L】http://www.yakuzencurry-ajyanta.com

センターイベント

ミュージアム & ICT研究会



博物館に深く関与されている方々を全国からお招きし、様々な立場からの事例紹介や課題提起を行っていただき活発な意見交換を行い、博物館とICTシーズのマッチングによる、理想的なガイドシステムの実現を目指しています。

けいはんなシーズ紹介交流会



けいはんな学研都市の研究機関が持つ技術シーズを地域の企業に紹介し、新たなビジネスチャンスに繋げることを期待しています。

中でも、レーザー微細加工の分野については、多くの企業から注目を集めており、「けいはんなレーザー微細加工研究会」を定期的に開催しています。

けいはんなサイエンス・カフェ

科学技術を中心に各界で活躍されている識者をゲストスピーカーに迎え、最先端の科学技術に触れつつ、和やかな雰囲気の中、参加者同士の会話が弾む異業種交流会です。



けいはんな若手研究者交流会

けいはんな学研都市に立地する企業、研究機関、大学等の若手研究者が自由闊達に意見を取り交わす交流会です。若い同年代同士、また研究者同士の一体感から、企業の垣根を超えた共同研究が生まれることを期待しています。

けいはんなTKSビジネスセミナー

事業活動を行う上で課題となる様々な事例をテーマとして開催する企業向けセミナーです。企業経営者及び担当者における経営スキル向上や企業戦略の構築を支援します。

シーズフォーラム

大学や研究機関が保有する技術シーズを、企業の担当者を前に発表するマッチング交流会です。参加企業におけるシーズ情報の収集と優れた技術シーズの早期事業化などを目的として開催しています。



ベンチャーフォーラム

新進気鋭のベンチャー企業に自社技術発表の機会を提供することで、参加企業とベンチャーキャピタル等とのビジネスマッチングを支援しています。

